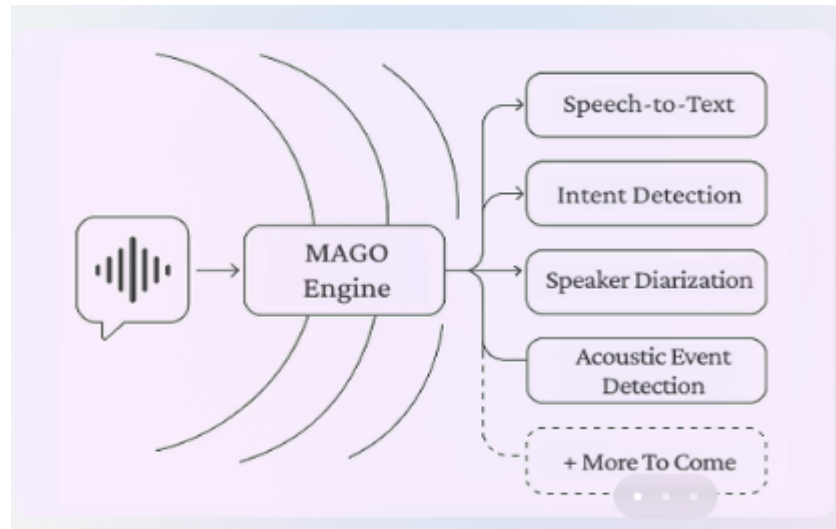
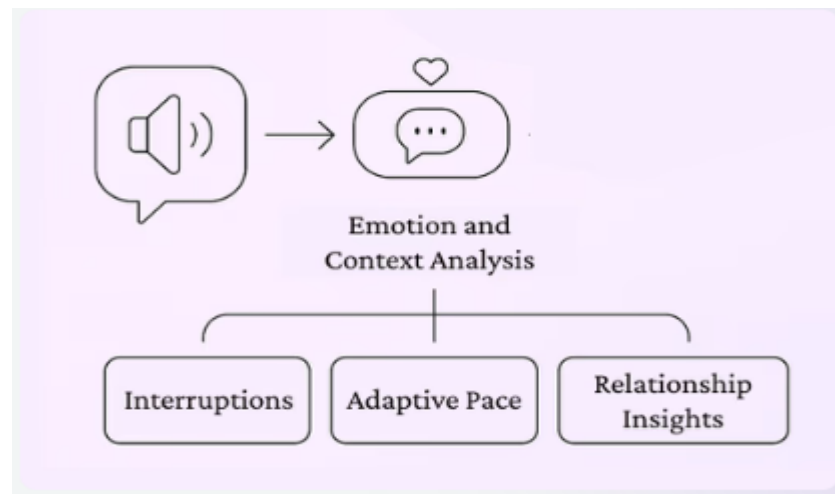


企業名 (設立日)	株式会社 MAGO (2022. 05)	代表者名	コ・ヒョンウン (Ko-Hyunwoong)
住所	2 1 7 Teheran-ro, Yeoksam-dong, Gangnam District, Seoul,		
URL (動画：URL)	https://www.holamago.com		
製品・サービス名	Audion (オーディオン)		
起業の動機	次世代のUIとしての音声AIがあまりにも複雑であることに気づき、 誰もが直感的に使える音声体験を提供するために設立		
製品・サービス紹介	〇 製品 <ul style="list-style-type: none"> - 音声認識 Large Speech Model：実際の環境でも安定して動作し、音声と無音を正確に区別して音声区間を精密に検出。年齢や方言にかかわらず自然に認識できる音声認識技術。 - 音声感情認識 (Speech Emotion Recognition)：音声信号から話者の喜び、悲しみ、怒りなど7種類の感情や落ち込みを詳細に分析し、感情状態を正確に把握。 - 会話AI (Conversation AI)：発話者の意図を迅速に理解し、2秒以内に自然な会話と実行可能な応答を提供。単なる会話を超え、知能的な対話体験を実現。 - 字幕生成・音源分離・テキスト分析などを効率化やカスタマイズも可能。 - 誰でも簡単に音声AIを使えるビルダープラットフォームとして提供。 		
	〇ターゲット市場・規模・将来性 <ul style="list-style-type: none"> - 高齢人口の急速な増加に伴い、自宅ケア・コミュニティケア・施設ケアを含むすべてのケア環境が対象となる。 - 技術面では「音声認識」「感情認識」「会話AI」が強みであるため、高齢者が“話す・聞く・反応を得る”というインタラクションを含むケア環境に適する。 (シニアが自然に発話することで状態を検知でき、方言や発話の癖があっても認識できる点がおおきな強みとなる) - 高齢者ケアにおいて「音声によるモニタリング」や「会話を通じたケア」「感情認識による状態把握」など、こうした技術ソリューションの需要が高まる。 		
	〇競合優位性、新規性、独自性 <ul style="list-style-type: none"> - 高齢者の発話特性や方言、訛り、発声速度の違いまで安定的に認識可能な高精度な音声AI技術を有する。 - ヘルスケアやメディアなどの多様な業界への音声AIの統合や、新興技術や市場動向への迅速な適応も可能。 - 最先端の音声AIを通じて、パーソナライズされたユーザーエクスペリエンスを提供。 		

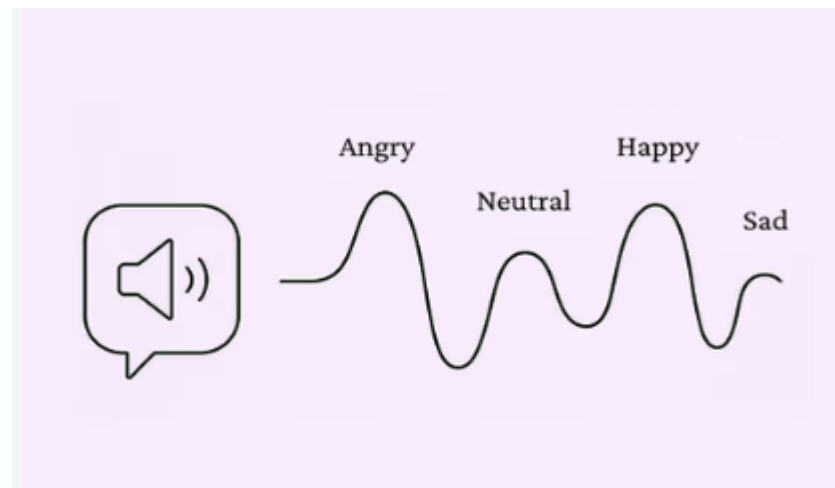
From Speech to Sentiment to Dialogue



Turn Speech into Valuable Data



Context, Understood



Emotion in Every Voice, Detected

製品・サービス
イメージ